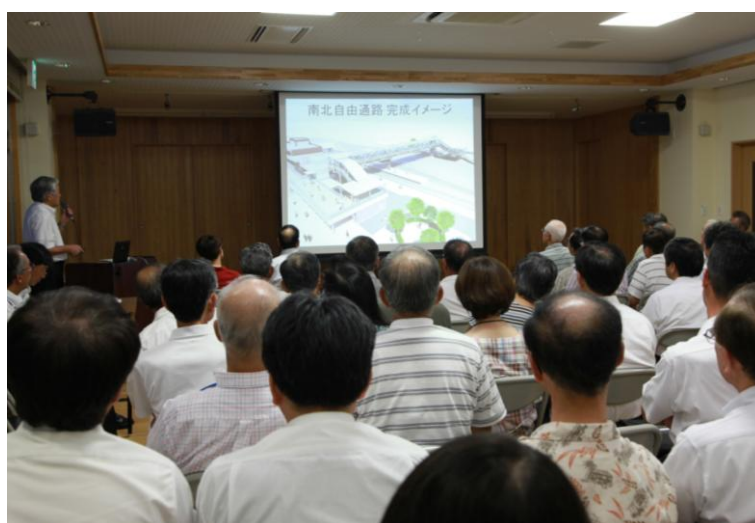


金子校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時	平成25年8月6日（火）19時から20時15分まで
場所	新居浜市地域交流センター
参加者数	男71人 女14人 合計85人



1. 校区の課題

課題名（ ごみステーションの収集箱設置への助成について ）

質疑応答（要約）

質疑者 庄内自治会長 藤田

（質問）庄内自治会では、ごみステーションの不備、集積後の保管状態が悪くこの水路に落水するごみ袋が増えているのが現状で関係者に大変迷惑をかけています。また、散乱を防止するには収集箱の設置が必要ですが、市販の収集箱は高価で購入をためらっているのが実情です。このような状況への見解とごみステーションの収集箱設置への助成について、ご意見をお聞かせください。

（回答）ごみ出しのマナー集積後の保管状況が悪いことについては、頭を悩ませておりますが、その対策として啓発看板や防鳥ネットの配布を行っております。ご希望の収集箱への助成については、平成21年の分別変更時に、不燃ごみステーションと総合ステーションの調査結果では、既に設置している収集箱が432か所、約30%あり、公平性の観点から問題があります。また、収集箱を設置することによって、時間外のごみ排出、他地区からの持ち込みといった新たな問題が発生している例も聞いております。今後、政策懇談会の地域コミュニティ再生ワーキンググループで議論、検討いただくことになっています

ので、その結果を踏まえて検討していきたい。

※ 再検討事項 特になし

課題名（ 自治会加入促進について ）

質疑応答（要約）

質疑者 八雲自治会長 近藤 忠

（質問）金子校区の住宅建設は近年増加傾向が続いております。マンション建設が進んでいるが、マンション入居世帯の自治会加入は約5%前後です。今回の課題としてマンション入居世帯の自治会加入促進について提案します。ごみステーション、防犯灯、地域の美化運動、自治会館の清掃等について、自治会加入世帯の皆さんで地域の問題を解消しながら生活しております。特にマンション世帯の最低50%に加入をお願いできたら、もっと充実した自治会運営ができると思うが、市としての取り組みを教えてください。

（回答）自治会加入率については市内全域の課題であり、1月のデータでは、市内全域で67.7%、金子校区で60%になっています。この問題についても、政策懇談会の地域コミュニティ再生ワーキンググループで議論していただくことになっているが、具体的な取り組みとしましては、マンションやアパートの建築確認申請の際に、市の担当窓口において、自治会加入促進のチラシを配布し、業者等への周知を図っています。また、今年2月の宅建協会の研修会において、各自治会長にもお配りしている「自治会加入促進の手引きQ&A」の冊子を全会員に配布するとともに、加入促進への取り組みをお願いしました。

今年7月から、転入者や転居者が、マンション、アパート、借家等の入居契約時に、入居者へ自治会加入について説明、記入していただいた「自治会加入連絡票」を市民活動推進課を経由して各自治会長さんへお届けして、加入促進につなげるという取り組みを始めました。宅建協会でもオーナーや管理業者に向けて自治会加入への協力を呼びかけていただいております。9月に開催される不動産フェアにおいて自治会加入促進キャンペーンを同時実施予定であると伺っています。

行政のみの取り組みだけでは自治会加入率を上げるのは難しいので、各自治会におかれども、自治会加入の呼びかけや自治会の必要性を説明していただき、行政と地域が連携した取り組みを行いたいので、ご協力をお願いします。

自治会加入のメリットが生かせる自治会活動、コミュニティ活動が必要であると考えており、他の校区のモデルとなるような取り組みについては支援する仕組みを検討していきたい。

※ 再検討事項 特になし

課題名（ 高齢者の対応について ）

質疑応答（要約）

質疑者 八雲自治会長 近藤 忠

(質問) 新居浜市の高齢者人口は毎年増加している。独居高齢者の見守りを民生委員が行っていますが、八雲自治会では民生委員を希望される方が少なく、今後の問題を抱えております。新居浜市の考えを教えてください。

(回答) 本市には259人の民生児童委員と35人の主任児童委員の計294人がいます。全国的に少子高齢化や単身世帯化、核家族化が急速に進行するなか、家族や地域の支えあい機能が低下し、人とのかかわりを拒む人が増え、孤独死につながるケースも発生し、民生委員に求められる役割がますます重要になっています。民生委員のなり手不足の要因としては、高齢者の見守りの負担増をはじめ、民生委員の業務が身近な生活相談から児童虐待への対応、各種証明事務や生活福祉資金貸付世帯に対する相談支援業務など複雑・多様化していることが挙げられます。さらに、任期が3年と長いことも敬遠する人が増えている要因とも言われています。

地域の中の協力体制という課題に対しては民生委員と見守り推進員との連携強化や自治会の加入促進が提案され、活動しやすい環境づくりという課題に対しては、民生委員への情報提供の充実や民生委員活動の理解促進のための広報の充実に取り組むこととしています。

3年に1度の一斉改選のときには、自治会長さん、公民館長さんをはじめ、地区推薦準備会委員の皆様、地域の関係者の皆様には大変ご苦勞をかけていますが、新居浜市としても欠員となる地区が生じないように取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。

※ 再検討事項 特になし

課題名 (城下地区から金子小学校までの通学路での危険個所の安全対策について)

質疑応答 (要約)

質疑者 城下自治会長 (児童見守り隊) 元木義雄

(質問) 昨今において、市、学校、地域を含め全体で通学児童の事故防止のため通学路の再点検を進めているように伺いました。そこで城下地区から金子小学校までの通学路で危険と思われ、対策を施してほしい個所を提示します。河内庄内線・城下寿線の道路脇水路について、グレーチング蓋での転落防止を図り、通学児童のより一層の安全を図っていただきたい。

(回答) 先日、私も現場を見てきたところであるが、ご要望の市道河内庄内線及び城下寿線の水路については、それぞれ庄内土地改良区、新須賀土地改良区の管理水路であるので、問い合わせたところ、現在も主要な用水路として利用している施設で、維持管理の観点から蓋かけへの同意は難しいとのことでした。道路管理者としましては、通学児童の事故防止であれば、転落防止柵等安全施設の設置を検討することは可能です。しかしながら柵を設置した場合、道路の幅が若干狭まることや、地元の方の自動車の乗り入れ等で不便になる場合がありますので、地元での十分な協議をお願いします。

※ 再検討事項 特になし

2. その他

(1) 通学路の危険箇所への対応について

質疑者 金子小PTA 安藤

(質問) 金子小学校PTAでは、毎年通学路の危険箇所マップを作成しており、今回18か所の危険箇所がありました。深い水路があるとか、学校、PTAでは対応できないところもある。草木や雑草の除去などは教職員等で対応しているが、学校等では対応できないところ、それと、通学路の車両進入禁止時間帯が午前7時30分から午前8時30分になっていますが、8時過ぎには既に登校済みであり、実情と合わないので変更できないものか。

(回答) 現在、国においても通学路の安全対策には力を入れてきているところであり、予算措置もされていると伺っております。通学路のここをこうして欲しいということについては教育委員会へ提出してもらいたい。市でできるものは整備したいと思う。

(2) 国土調査の実施について

質疑者 庄内自治会 神野

(質問) 国土調査については、土地行政の円滑化、固定資産税の適正化等の観点から必要性が高いものと考えます。また、国からの有利な補助もあり、新居浜市として積極的に取り組んでほしい。

(回答) これまでは消極的な取り組みであり、国道11号バイパスに係る道路改良工事等に伴う地域に限って実施してきた。来年度からは、人口集中地区を中心に組みたいが、人の増員や予算を伴うことから今後実施については検討してまいりたい。